取扱説明書

744CCU1
MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT

'10 6/30

生産終了

STUDIO EQUIPMENT

安全にお使いいただくためのご注意

安全にお使いいただくため、本製品の設置前、及びご使用前に、以下をよくお読みください。

ご使用中も、いつでも見られる場所に保管してください。

！警告

- 電源電圧は AC100V(50/60Hz)専用です。これ以外の電圧の電源を接続しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードのプラグは確実に差し込んでください。抜けかかった状態で端子が露出していると、火災や感電の原因になります。
- 電源コードの上に物をのせないでください。電源コードの温度が高くなったり、コードに傷がつくと、火災や感電の原因になります。
- 本製品に水がかかったり、内部に水が入らないようにご注意ください。火災や感電の原因になります。
- 本体ケースは開けないでください。感電の原因になります。
- 落雷の危険がある場合は本体、電源コードに触らないでください。感電の原因になります。なお、落雷が近いことが事前に確認できる場合は電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本製品使用中に、火花や煙が出るなど、異常を感じたら、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。

！注意

- しっかりした安定な場所に設置してください。落下等の衝撃が加わると、火災や感電の原因になります。
- ストーブ等、高温になる器具に本体及び電源コードを近づけないでください。火災や感電の原因になります。
- 周囲温度が高い場所で使用しないようご注意ください。火災の原因になります。
- 本製品はエアコン等により周囲温度の安定している屋内専用です。屋外で使用しないでください。
- 放熱穴を塞がないでください。火災の原因になります。
- 配線工事を伴う設置の場合、配線接続が正確に行われているか、専門業者により十分に確認してからご使用ください。間違った配線のまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の出力経路にヘッドホンアンプやパワーアンプが繋がっている場合、ヘッドホンアンプやパワーアンプのボリュームを最小にしてから本製品の電源スイッチを操作してください。急に大きな音が出ると聴力障害の原因になることがあります。
- 時々、電源プラグを抜いて、電源コードに傷や電源プラグに変形等の異常が無いか点検してください。異常がある場合は、販売店にコードの交換を依頼してください。異常のある電源コードを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。長期間、コンセントに電源プラグが挿し込まれたままになっていると、ほこりなどの付着によって、火災の原因になることがあります。

生産終了

744CCU 概要

STEREO/SURROUND/COMMUNICATION 機能を統合したモニターボリュームコントロールユニット。
アナログ音声制御本体 744-CCU1 とリモートスイッチボックス 744-CCR1 各１台を一組として構成する。

製品の特徴

*スタジオで必要とされるステレオ、サラウンドモニター機能を完全に統合。
*オールアナログ回路構成で優れた音質。デジタル領域ボリュームで生じるようなレゾリューションの低下を招きません。さらに、すべての回路切替えを機械式リレーで行い、通過アンプ段数を最小限にする回路構成により、優れたS/Nを得ています。
*サラウンドモニタープロセッサ インサート機能。
*サラウンド入力は6CH(オプションで8CH可)構成、サラウンドモニター出力はプロセッサ インサート機能装備、インサートリターン以降標準で8CH仕様(オプションで10CH可。s1、s2に加え、BLs/BRs(バックチャンネル)に対応。入力8CHオプションと合わせて6.1プログラム音声にも完全対応)。
*2系統のサラウンドモニター出力。プレビュールーム等、遠隔室へのモニター出力に対応。
*ステレオモニター3系統+1EXTRA(サラウンドモニターのL/R)。EXTRAモニターリバース機能を設定することにより、ステレオモニターのMAIN、MINI1、MINI2のどれか一つをサラウンドモニターL/Rと兼用可能。
*スタジオスピーカー、CUEヘッドフォン出力、トークバック、リッスンマイク(リターントークバック)等、コミュニケーション機能を完全に統合。サラウンドモニター時もダウンミックス信号を使用するためコミュニケーション機能が損なわれません。
*充実した外部制御機能、外部トークバックスイッチ他、様々なシステムに柔軟に対応。
*幅を抑えたコンパクトな縦長のリモートスイッチボックス形状は、沢山の機材で手狭になりがちな机上スペースを有効に使えるよう配慮してます。

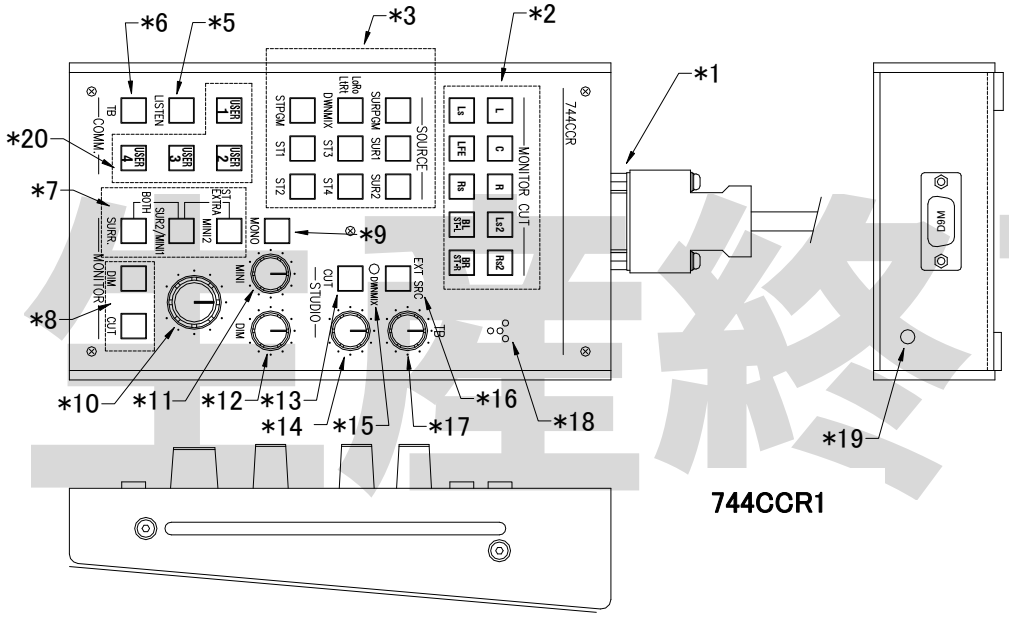
SPEC.

入力コネクター	D25S(S=Female)　(各#4-40 インチポスト)
出力コネクター	D25S(S=Female)　(各#4-40 インチポスト)
音声入力特性	入力インピーダンス Hot10kΩ/Cold10kΩ 電子バランス型 0～+4dBu 基準 最大入力 +25dBu
音声出力特性	負荷インピーダンス 600Ω以上 アンバランス型 0～+4dBu 基準 最大出力 +21dBm
	(メーター出力のみ)負荷インピーダンス 600Ω以上 電子バランス型 0～+4dBu 基準 最大出力 +25dBm
伝送周波数特性	20～20kHz +0.5/-0.5dB

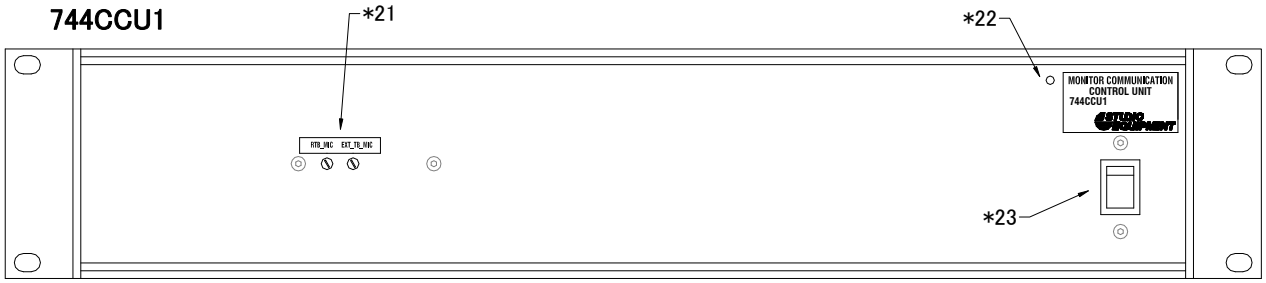
定格

電源電圧	AC100V
電源周波数	50/60Hz
消費電力	35W
外形寸法(744CCU)	W=482mm　H=88mm　D=230mm (各突起部及びコネクター含まず)
外形寸法(744CCR)	W=100mm　H=49mm　D=173mm (各突起部及びコネクター含まず)

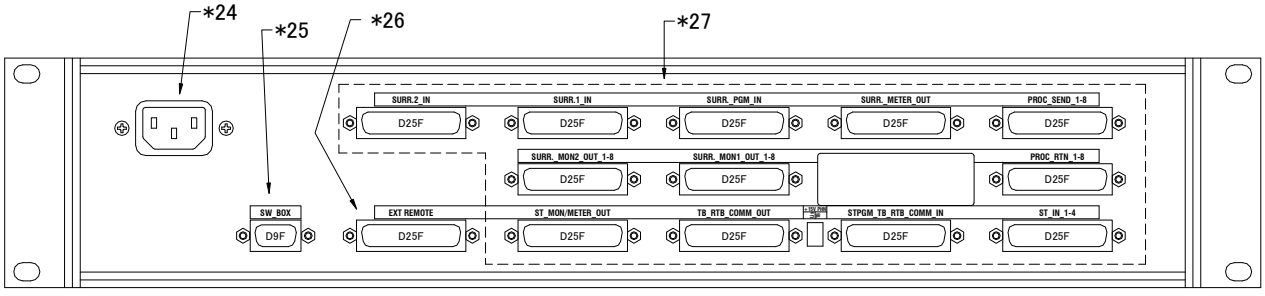
重量	744CCU1:3.7kg(本体のみ) / 744CCR1:0.5kg(本体のみ)
付属品	リモートボックス接続ケーブル 15m 1、電源コード(1.8m)1、取扱説明書 1



744CCR1



744CCU1



生産終了

各部の機能

*1:本体接続コネクター。D サブ 9 ピンオス。電源の投入は、接続ケーブルを本体、リモートスイッチボックスに接続した状態で行ってください。*推奨はしませんが、動作中にこのケーブルをリモートボックスから外すことができます。このとき本体の動作は、外す直前の状態を継続します。ケーブルを再接続するとリモートボックスの操作状態に移行します。

*2:MONITOR CUT スイッチ。サラウンドモード時に各モニター出力チャンネルをそれぞれカットします。カット時赤色 LED 点灯表示。(”BL/ST-L”,”BR/ST-R”スイッチは注文時 X オプション仕様の機能で、標準仕様では付いていません)

*3: SOURCE スイッチ。サラウンド 3 系統、ステレオ 5 系統からそれぞれ選択します。サラウンドは緑色 LED、ステレオは黄色 LED 表示。ダウンミックスは二つの係数(ミックスバランス)を切り替えてモニターすることが出来、”DWNMIX”選択中にもう一度”DWNMIX”を押すと赤色 LED 表示に変わります。黄色は LoRo 赤色は LtRt を表します(LoRo、LtRt については後の頁で説明)。表示はサラウンドソース、ステレオソースが常に同時に表示されます。モニター出力はステレオ、サラウンド択一ですので、同時表示は一見無意味で分かりにくいだけと感じるかもしれません。しかし、サラウンド入力においてはプロセッサ出力が、ステレオ入力においてはメーター出力がそれぞれ常に出力されており、これらの出力が、例えば録音機器等に接続される場合もあるため、これらの出力の表示の意味合いとして、ステレオ、サラウンドそれぞれの選択音声を常に表示することにしています。ステレオ/サラウンドモニターモード切替は、選択した MONITOR SOURCE SW のモニターモードに自動的に切り替わります。”SURPGM”,”SUR1”,”SUR2”を選択した場合は、自動的にステレオ選択が”DWNMIX(LoRo)”に切り替わります。SLS、CUE 送りがステレオソースからとなっているため、サラウンドモニター時”DWNMIX”以外が選択されている場合、スタジオ送りの音が途切れる可能性があります。SLS、CUE が通常はコントロールルーム側ではモニターできないため、このような問題に気付かない場合もトラブルが発生しないようにするため一旦自動的に”DWNMIX”を選択します。

*5:LISTEN スイッチ。ラッチ動作。黄色 LED。このスイッチを動作させると(*26”EXT REMOTE”の”Y-LIS_SW_IN/OUT”の動作はこのスイッチの動作とは違いがあります)”LISTEN1_MIC_IN”、”LISTEN2_IN”に接続された音声が”LISTEN_OUT”に出力されます(“LISTEN_PRE_OUT”は操作と無関係に常時出力されています)。一旦”MONITOR DIM”がセットされます。このときの”MONITOR DIM”は、*8”DIM”を押すことで解除できます(DIM 解除でハウリングが起きる可能性があります)。SLS/CUE 出力には DIM/MUTE を行いません。　*26”EXT REMOTE”の”Y-LIS_SW_IN/OUT”は、スタジオリッスン機能ではなく、リターントークバック機能として使用されます。このため、動作中は SLS/CUE を DIM レベルにします。MONITOR 出力には DIM/CUT を行いません。”Y-LIS_SW_IN/OUT”動作中にリモートスイッチボックスの”LISTEN”LED は点灯しません。リモートスイッチボックスの”LISTEN”と*26”EXT REMOTE”の Y-LIS_SW_IN/OUT”を同時に動作させた場合は、リモートスイッチボックスの”LISTEN”動作が優先されます。

*6:TB スイッチ。モーメンタリー動作。黄色 LED。このスイッチを動作させると、モニター出力、SLS、CUE に DIM がかかり、SLS/CUE にトークバック音声が出力されます。これと同時にトークバック音声が”TB_OUT”に出力されます(“TB_PRE_OUT”は、*18TB_MIC 出力を除き、操作と無関係に常時出力されています。*18TB_MIC 出力は”TB”動作時のみ出力にミックスされます)。リモートスイッチボックスの TB スイッチを押したときは、(初期設定にかかわらず)トークバック音声はリモートスイッチボックスの*18TB_MIC、”EXT_TB_MIC_IN”、”EXT2_TB_IN”がミックスされた信号です。*26”EXT REMOTE”の”Y-TB_SW_IN”の動作はリモートスイッチボックスの”TB”と同じですが、*18TB_MIC 出力を含めるかどうか、初期設定で選択できます。(出荷時設定は”*18TB_MIC 出力を含める”)(初期設定については後の頁で説明) このため外部トークバックマイクを使用してトークバック動作中のマイクだけを生かしたい場合は、外部トークバックマイク音声を、該当する外部トークバックスイッチと連動して ON/OFF するような機能を外部に設ける必要があります。この機能を持つマイク付き外部トークバックスイッチボックスとして、当社製品”708S1”または”708B1”が最適です。

*7:SURR. スイッチ。ステレオ/サラウンドモードを切り替えます。サラウンドモード時点灯、緑色 LED。SOURCE スイッチの選択状態と、このスイッチの動作の組み合わせにより、任意のステレオとサラウンド信号のモニター切り替えが可能になります。

*7:SUR2/MINI1 スイッチ。ステレオモードでは MINI1(黄色 LED)を選択し、サラウンドモードでは SUR2(緑色 LED)出力を選択します。SUR2 出力は、サラウンドモニターサブセットとしても使用できますが、同一室内にサラウンドモニターセットが二つ設置されている状況は少ない例だと思います。これ以外には、例えばスタジオブース内に設置されたサラウンドモニターセットや、スタジオに隣接するプレビュー室など、遠隔室に出力する場合に使用するケースがあり得ます。

サラウンドモード時、”SURR.”スイッチを押しながら”SUR2/MINI1”スイッチを押すと、SUR1 出力、SUR2 出力を両方同時に出力する”BOTH_MODE”になります。”BOTH_MODE”のときは赤色 LED 表示になります。”BOTH_MODE”は特に、SUR2 セットが遠隔室にある場合にモニター出力音声を確認する目的で使用します。"BOTH_MODE”は、サラウンドモード時”SUR2/MINI1”を押すと解除されます。

*7:MINI2 スイッチ。ステレオモードでは MINI2(黄色 LED)を選択します。サラウンドモードでは*26”EXT REMOTE”のサラウンドモード時限定ユーザースイッチ(このときは緑色 LED)として機能します。

ステレオモード時、”SUR2/MINI1”と”MINI2”スイッチを同時に押すと”MON”出力が、”ST_EXTRA”モニター出力に切り替わります。”ST_EXTRA”モニター出力は、”MON”出力の代替出力として SUR1 出力の L,R を使用するものです。”ST_EXTRA”モニター出力は、ステレオモード時、”SUR2/MINI1”と”MINI2”スイッチを同時に押すと解除されます。この他、有効な使い方として、ST_EXTRA リバース初期設定によって、例えば、MINI1 出力と ST_EXTRA 出力を入れ替えておけば、SUR1 出力の L,R を MINI1 出力と兼用することができます(ST_EXTRA リバース初期設定については、後の頁で説明)。

*8:DIM スイッチ。モニター出力に DIM をかけます。黄色 LED。

*8:CUT スイッチ。モニター出力をカットします。赤色 LED。

*9:MONO スイッチ。ステレオモード時モノモニター出力になります。SLS/CUE もモノになります。[L+R]-3dB のミックススケーリングです。”MONO”は黄色 LED。サラウンドモード時も SLS/CUE はモノモニター継続。ステレオメーター出力は、モノになりません。サラウンドモードでは*26”EXT REMOTE”のサラウンドモード時限定ユーザースイッチ(このときは緑色 LED)として機能します。

*10:MONITOR ボリューム。モニターボリュームレベルを調整します。サラウンド含む各ボリュームレベルの入力に対する最大ゲインは+3dB です。(CUE 出力はレベル固定。-3dB。バランス IN アンバランス OUT であるためレベル飽和を避けるためゲインを抑えています)

*11:MINI ボリューム。MINI1、MINI2 モニター時に MONITOR ボリュームレベルに-20～+12dB の範囲の相対レベルを加えます。MINI1、MINI2 モニター時も MONITOR ボリュームによってボリュームレベルが調整されます。初期設定により相対レベルではない**MINI1,MINI2 専用 MONITOR ボリュームに変更**することもできます(Rev0.5 より)(出荷時設定は相対レベル)(初期設定については後の頁で説明)。

*12:DIM ボリューム。モニターDIM 動作時の、DIM レベルを-38～-6dB の範囲で調整します。反時計方向で DIM が増加(=レベルが小さく)なります。

*13:STUDIO CUT スイッチ。SLS 出力をカットします。動作時赤色 LED。

“STUDIO CUT”スイッチを押している間、SLS/CUE 出力は DIM レベルになります。この状態のとき*12”DIM”ボリュームを動かすと SLS/CUE の DIM レベルを調整できます。調整された SLS/CUE の DIM レベルは、数秒後にメモリに保存され、次回電源投入時にリジュームされます。メモリ保存時”EXT SRC”がインジケータとして一瞬点灯します。

*14:STUDIO ボリューム。SLS 出力のボリュームレベルを調整します。

*15:DWNMIX LED。SLS/CUE 出力が、内部ダウンミックス回路からの音声であることを表示します。黄色 LED。

*16:EXT SRC スイッチ。SLS/CUE 出力を“SLS/CUE_EXT”入力に切り替えます。動作時点灯黄色 LED。

*17:TB ボリューム。SLS/CUE への TB 出力レベルを調整します。

*18:TB_MIC。リモートスイッチボックスの TB マイク。

*19:TB_MIC レベル。リモートスイッチボックスの TB_MIC のゲインを調整します。

*20:USER スイッチ。*26”EXT REMOTE”接点制御接続で動作します。*26”EXT REMOTE”のピン配列名称との対応は、左上が USER_SW1 その右が 2、2 の下が 3、一番下の(TB_SW 右が)4 です。図では便宜上”USER1”等表示記載していますが、実際は表示はありません(別途有償にて記名表示を追加することもできます。販売店にお問い合わせください)。初期設定でモーメンタリー/ラッチ出力の選択と、タリー入力 LED 色を緑/赤/黄のどれかに再設定できます。(出荷時は USER_SW1～4 すべてモーメンタリー出力、LED 色は黄色。初期設定については後の頁で説明)

*21:RTB/EXT_TB マイクレベル。”LISTEN”スイッチ、”TB”スイッチの動作で”LIS1_MIC_IN””EXT_TB_MIC_IN”の信号も、それぞれにミックスされて出力されますので、マイク入力端子オープンでのノイズ混入を避けるため、使用しない場合はそれぞれを絞りきっておいて下さい。”LIS1_MIC_IN””EXT_TB_MIC_IN”各入力には+15V ファンタム電源が重畳されています。+15V ファンタム電源はコネクター横の DIPSW で OFF にすることができます。(出荷時:1:ON / 2:ON)

*22:電源インジケーターLED。赤色 LED。本体内部電源は、+15V、-15V、+5V の電圧をもっています。電源インジケーターは+15V、-15V が共に正常な時点灯します。

*23:電源スイッチ。

*24:電源入力コネクター。AC100V 電源入力。

*25:SW_BOX コネクター。リモートスイッチボックス接続用。D サブ 9 ピンメス。

*26:EXT_REMOTE コネクター。外部制御接続用。詳細はピン配列表を参照。

*27:音声入出力コネクター。詳細はピン配列表を参照。

**メーターアウトについて

ステレオメーターアウトはサラウンドモード時も SOURCE スイッチで選択されているステレオソースが常時出力されています。サラウンドメーターアウトは、サラウンドモード時は、SOURCE スイッチで選択されているサラウンドソースが出力され、ステレオモードでは、ステレオメーターアウトと同じ信号が L,R に出力され、C,LFE,Ls,Rs,BL,BR はカットされます。サラウンドメーターアウトにレベルイメージ(リサージュ)スコープを接続しておけばステレオ、サラウンドのレベルイメージ(リサージュ)モニターを 1 台でカバーできます。

PROC アウトについて

PROC アウトとサラウンドメーターアウトは出力バッファーアンプが共用されています。このため PROC アウト、サラウンドメーターアウトに繋がる機器は、レベル変動を招かないように、10kΩ以上のハイインピーダンス入力であることが推奨されます。

生産終了

***サラウンドリファレンスレベル機能ついて（Rev0.5 より）**

サラウンドリファレンスレベルは、所謂 85dB レベルと呼ばれる、フィルムサウンド基準音圧レベルを設定するための機能です。

サラウンドモード時 SURR. スイッチを押しながら DIM スイッチを押すと、サラウンドモニター出力が、現在のモニターボリューム位置と無関係に、あらかじめ設定されたサラウンドリファレンスレベル値にセットされます。サラウンドリファレンスレベルは、DIM スイッチの間欠点滅として表示されます。この機能は、サラウンドモードにのみあり、ステレオモードにはありません。サラウンドリファレンスレベル ON 時も、ステレオモードでは DIM スイッチの間欠点滅は表示されず、現在のモニターボリューム位置のレベルで出力されます。サラウンドリファレンスレベルはモニターボリューム位置のみを設定値に置き換えます。その他の機能には影響を与えません。

出荷時のサラウンドリファレンスレベル値は、最大ボリューム位置より-20dB 絞った位置(つまみの表示位置を時計の短針とすると、12 時少し過ぎ程度になります)になります。サラウンドリファレンスレベル値は以下の方法で再設定可能です。

サラウンドリファレンスレベル ON/OFF

SURR. スイッチを押しながら

DIM スイッチを押す

↓

サラウンドリファレンスレベル ON

DIM スイッチの間欠点滅として表示

(OFF も同様の操作)

生産終了

サラウンドリファレンスレベルの再設定

ピンクノイズジェネレーター、騒音計等の測定器を別途使用して、リファレンスレベルを決めます。通常は、出荷時のサラウンドリファレンスレベルに合わせて、パワーアンプ等モニター出力側の機器のレベル調整により設定します。このときの 85dB 基準レベルからのモニターゲイン余裕は 20dB となります。この方法ではサラウンドリファレンスレベルの再設定は必要ありません。

744CCU1 で設定する場合は、本体内部に保存されているサラウンドリファレンスレベルの再設定を行います。サラウンドリファレンス OFF でモニターボリュームにて、レベルを設定します。このとき、モニターボリューム位置が 10 時以下の小さい状態になる場合は、モニターゲインの余裕が大きすぎ、モニターシステム全体としての S/N を悪化させますので、パワーアンプ側のボリュームを絞る方向で、モニターボリューム位置が 11 時以上になるように調整されることを推奨します。このモニターボリューム位置で、SURR. スイッチを 10 秒以上押したままにすると、MONITOR CUT “L”が点滅状態になります。次に SURR. スイッチは押したままの状態で MONITOR CUT “L”を押すと、本体内部に保存されているサラウンドリファレンスレベル値が上書きされます。MONITOR CUT “L”を押さずに SURR. スイッチを放した場合は、上書きせずにそのまま通常動作に戻ります。

再設定方法

SURR. スイッチを 10 秒以上押す

↓

MONITOR CUT “L”が点滅状態

↓

SURR. スイッチは押したまま

MONITOR CUT “L”を押す

↓

サラウンドリファレンスレベル値が上書きされる。

使用方法

*使用前に、すべての配線を完了します。D サブコネクター固定ねじもすべて締めてください。

*電源を入れる前に、リモートスイッチボックスの”MONITOR”ボリュームを絞り切っておいて下さい。

*パワーアンプ等、スピーカーやヘッドフォンが接続されている機器の電源が入っていない状態、またはボリュームを絞り切った状態で、本製品の電源スイッチを入れてください。電源投入時の不用意なノイズや突然の大音量からスピーカーやヘッドフォンを保護します。

*電源投入後、約 3 秒間リモートスイッチボックスに初期設定の状態が表示されます。(初期設定については後の頁で説明)

*SOURCE 選択状態は”STPGM”、ステレオモード、”MONITOR CUT”、”SLS CUT”で起動します。

*電源を切る場合は、本製品より先に、パワーアンプ等、スピーカーやヘッドフォンが接続されている機器の電源を切ってください。

*電源を切った後、再度電源を入れる場合は、電源を切ってから 5 秒以上時間を空けてから行ってください。電源を切った直後は、内部にたまっている電気が十分放電されていないため、この状態で電源を入れると、電源投入時のリセットがうまくかからず、正常に動作しない場合があります。

生産終了

初期設定

初期設定を変更することで、以下の機能をカスタマイズすることができます。

:リモートスイッチボックス”USER”スイッチのLED点灯色の選択、モーメンタリー/ラッチ出力の選択。

:リモートスイッチボックス”MONO”,”MINI2”スイッチのサラウンドモード時のモーメンタリー/ラッチ出力の選択。

:ST_EXTRAリバースモードの設定。

:”EXT_TB_SW_IN”動作時、リモートスイッチボックスのTB_MIC音声をONにするかどうかの選択。

:MINIボリュームの動作をMONITORボリュームの　レベルトリミング動作にするか、MONITOR ボリューム位置と無関係なMINI MONITORボリューム動作そのものにするかの選択(Rev0.5より)。

初期設定の設定方法。

電源投入時の不用意なノイズの発生を避けるため、先に、パワーアンプ等、モニター系統の機器の電源が入っている場合は切っておいてください。

電源投入時より先に、リモートスイッチボックス **SOURCE”STPGM”** と **MONITOR”CUT”** を、同時押しした状態で電源を入れます。このまま同時押しを継続します。通常動作と同じく約3秒間初期設定状態が表示されたあと、設定変更状態になります。設定変更状態ではMONITOR CUTの”L”が点滅状態になります。この状態になってからスイッチ押指を放してください。

・”USER”スイッチの設定。

LED点灯状態でラッチ出力､点滅状態でモーメンタリー出力です｡変更する”USER”スイッチを押す毎にLED色と､点灯、点滅が切り替わります。

・”MONO”,”MINI2”スイッチの設定。

LED点灯状態でラッチ出力、点滅状態でモーメンタリー出力です。変更するスイッチを押す毎に、点灯、点滅が切り替わります。

・ST_EXTRAリバースモードの設定。

“STPGM”、”ST1”、”ST2”がそれぞれ、”MON”、”MINI1”、”MINI2”に対応しています。リバースモードを選択するスイッチを押すと点灯し、リバースモードの入れ替え相手になります。リバースモードを解除する場合は、点灯しているスイッチを押すと消灯し、リバースモード解除になります。

・”EXT_TB_SW_IN” TB_MIC音声ONの設定。

“TB”スイッチを押す毎に点灯、点滅が切り替わります。“TB”スイッチが点灯している場合”EXT_TB_SW_IN” 動作中TB_MIC音声を含める。“TB”スイッチが点滅している場合”EXT_TB_SW_IN” 動作中TB_MIC音声を含めない。

(*どちらの場合もリモートスイッチボックスの”TB”スイッチを押したときはEXT_TB音声､EXT_TB_MIC音声ともONになります)。

・MINIボリューム動作の設定。

“MINI1”スイッチを押す毎に黄色LEDの点灯、点滅が切り替わります。“MINI1”スイッチが点灯している場合MINIボリュームはMONITORボリュームと無関係に直接MINI1,MINI2ボリュームとして動作します。“MINI1”スイッチが点滅している場合MINI1,MINI2が選択されているとき､MONITORボリュームのレベルトリミングボリュームとして動作します。

希望の設定を選択し終えたら、初期設定値をメモリーに保存します。**点滅中のMONITOR CUT “L”を押すと、初期設定値が変更保存され**､再度初期設定値が約3秒間表示されたあと､通常動作に移行します｡変更を破棄したい場合は､MONITOR CUT “L”を押さずに、そのまま電源を切ります。再度通常動作で電源を入れる場合は、5秒程度所間を空けてから、今度はボタンを押さずに電源を入れます。

生産終了

ダウンミックスについて

本製品はサラウンド入力からステレオ出力を得る、ダウンミックス機能を内蔵しています。この機能により、ステレオ、サラウンドのモニターを統合しています。ダウンミッククスは現在、複数の方式があり、本製品では、どちらも係数固定の Lo/Ro、Lt/Rt の 2 種類を切り替えてモニターできるようになっています。Lo/Ro の L,R を除く各チャンネルは、必要であれば、内部半固定抵抗で調整することができます。Lt/Rt は係数固定で変更できません。Lo/Ro は L 側成分を Lo に R 側成分を Ro に割り振る L/R ステレオとの互換性に重点を置いた仕様です。主に音楽信号の場合に重視されます。Lt/Rt は、ドルビー社のドルビーサラウンド(3.1 サラウンドとも呼ばれています)との互換を重視した仕様で、Lt/Rt をドルビーサラウンドデコーダーに通した場合に、リヤ成分がリヤに定位する再現性を重視しています。主に映画やラジオなどで用いられます。Lo/Ro、Lt/Rt とも LFE チャンネルは加えられず、無視されます。

本製品のダウンミックス係数は

Lo=0.707(L+0.707*C+1*Ls+(1*BL+1*BR)) …BL/BR のミックスは現在規格外でありこれはオプション

Ro=0.707(R+0.707*C+1*Rs+(1*BL+1*BR)) …BL/BR 同上

Lt=0.707(L+0.707*C-0.707*Ls-0.707*Rs+or-(0.707*BL+0.707*BR))…BL/BR 同上

Rt=0.707(L+0.707*C+0.707*Ls+0.707*Rs+(0.707*BL+0.707*BR))…BL/BR 同上

BL/BR チャンネルのミックスは現在定義されていませんので、本製品でもオプションとして製造時に実装の選択を行います。

すべてのミックスでトータルに-3dB(上式右項最初の 0.707)されています。これはスケーリングと呼ばれ、ダウンミックス後のレベル飽和を抑える目的で施されます。単にダウンミックスするという観点からは必要ないものですが、実際のダウンミックスにおいては一般的です。

Lo/Ro の C/Ls/Rs/BL/BR の係数は、必要であれば内部半固定抵抗で調整可能です。特に、Ls/Rs の係数は、製品出荷時は 1 です。内部半固定抵抗で調整後は固定となりますので、運用される主なプログラムの性質を考慮して決定してください。調整は本体の上蓋を開けた状態で電源を入れて行います。危険が伴いますので、出荷時設定以外の係数を希望される場合は、できるだけ注文時に指定してください。やむを得ず出荷後に調整される場合は、電気の技術者が行ってください。

Lt/Rt の係数は固定です。Lt への Ls と Rs の係数がマイナスになっている点に注意してください。リヤ成分を逆位相で Lt と Rt にミックスすることでドルビーサラウンドデーコーダー(3.1 デコード)でのデコード互換性をとっています。

本製品のダウンミックス係数はアナログ回路である制約もあり、固定です。係数は aisc A/52B 7.8.2 によります。加えて、最大レベルの飽和を抑えるため、ダウンミックス後に-3dB のトータルスケーリングを行っています。このためステレオミックスとの間にレベル差を生じます。

生産終了

仕様書No.08041201

仕様書

型番	744CCU1	承認	検図	作成	株式会社スタジオイクイプメント
製品名	MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT				2009年3月10日

1 概要

STEREO/SURROUND/COMMUNICATION機能を統合したモニターボリュームコントロールユニット
アナログ音声制御本体とリモートスイッチボックス各1台を一組として構成する。

2 付属品

リモートスイッチボックス744CCR1 1台
AC100V接続用電源コード(1.8m) 1本
リモートスイッチボックス接続ケーブル(15m) 1本
取扱説明書 1部

3 定格

(1) 伝送周波数範囲 伝達特性
周波数特性: 20～20kHz +0.5/-0.5dB以内
入出力ゲインIN-(MON/SLS)OUT:+6dB(最大)
入出力ゲイン: IN-METER/CUE_OUT:0dB

(2) 入力回路数及びレベル
MON_IN 2(STEREO)x5系統: +4dBu または 0dBu 基準
SUR._IN 6(SURR.)x3系統: +4dBu または 0dBu 基準
EXT_TB_MIC_IN:1 -50～-40dBu
LISTEN1_MIC_IN:1 -50～-40dBu
EXT_TB2_IN:1 +4dBu または 0dBu基準
LISTEN2_IN:1 +4dBu または 0dBu基準

(3) 出力回路数及びレベル
MON/CUE/SLS OUT:2(STERO)x3系統 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+21dBm
SUR.OUT:8(SURR.)x2系統 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+21dBm
METER OUT:(STEREO)2 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+24dBm
METER OUT:(SURR.)6 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+24dBm
TB_OUT:2 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+20dBm
RTB OUT:2 +4dBu または 0dBu 基準 最大出力レベル >+20dBm

(4) 入力インピーダンス及び回路
MON/SURR._IN: 入力インピーダンス20kΩ 電子バランス型
TB/LISTEN1_MIC_IN: 入力インピーダンス 2kΩ 電子バランス型(+15VPHANTOM)
TB2/LISTEN2_IN: 入力インピーダンス 20kΩ 電子バランス型

(5) 出力インピーダンス及び回路
MON/CUE/SLS/TB/LISTEN_OUT: 出力インピーダンス30Ω アンバランス型
METER OUT: 出力インピーダンス100Ω 電子バランス型

(6) 電源
AC100V 50/60Hz

(7) 極性
ピン配表に明記

(8) 使用時間
不断連続動作

(9) 動作温度湿度範囲
0～35℃、35～85%(結露無きこと)

(10) 消費電力
35W

(11) 重量
744CCU1:3.7kg(本体のみ) / 744CCR1:0.5kg(本体のみ)

4 外観図
別紙 744-CCU10D / 744-CCR10D

5 ブロック図
別紙 744-CCU1BD

6 ピン配表
別紙 744-CCU11OPD1 1/8-8/8

生産終了

(株) スタジオイクイプメント
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10
TEL03-3795-3111/FAX03-3795-3353

744-CCU1 I/O Connector Pinout 1/8

ST_MON_IN
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	IN ST4R+	
14	IN ST4R-	
2	IN ST4R GND	
15	IN ST4L+	
3	IN ST4L-	
16	IN ST4L GND	
4	IN ST3R+	
17	IN ST3R-	
5	IN ST3R GND	
18	IN ST3L+	
6	IN ST3L-	
19	IN ST3L GND	
7	IN ST2R+	
20	IN ST2R-	
8	IN ST2R GND	
21	IN ST2L+	
9	IN ST2L-	
22	IN ST2L GND	
10	IN ST1R+	
23	IN ST1R-	
11	IN ST1R GND	
24	IN ST1L+	
12	IN ST1L-	
25	IN ST1L+ GND	
13		

生産終了

TB_RTB_COMM_IN
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	IN ST_PGM R+	
14	IN ST_PGM R-	
2	IN ST_PGM R GND	
15	IN ST_PGM L+	
3	IN ST_PGM L-	
16	IN ST_PGM L+ GND	
4	SLS/CUE EXT IN R+	
17	SLS/CUE EXT IN R-	
5	SLS/CUE EXT IN R GND	
18	SLS/CUE EXT IN L+	
6	SLS/CUE EXT IN L-	
19	SLS/CUE EXT IN L GND	
7	EXT TB2 IN+	ラインレベル入力
20	EXT TB2 IN-	ラインレベル入力
8	TB IN GND	
21	EXT TB MIC IN+	マイクレベル入力
9	EXT TB MIC IN-	マイクレベル入力
22	TB IN GND	
10	LISTEN2 IN+	ラインレベル入力
23	LISTEN2 IN-	ラインレベル入力
11	LISTEN2 IN GND	
24	LISTEN1 MIC IN+	マイクレベル入力
12	LISTEN1 MIC IN-	マイクレベル入力
25	LISTEN1 MIC IN GND	
13	---	

744-CCU1 I/O Connector Pinout 2/8

TB_RTB_COMM_OUT
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.		Description	Note
1		STUDIO SPK OUT R+	アンバランス出力
	14	STUDIO SPK OUT R GND	
2		STUDIO SPK OUT R GND	
	15	STUDIO SPK OUT L+	アンバランス出力
3		STUDIO SPK OUT L GND	
	16	STUDIO SPK OUT L GND	
4		CUE OUT R+	アンバランス出力
	17	CUE OUT R GND	
5		CUE OUT R GND	
	18	CUE OUT L+	アンバランス出力
6		CUE OUT L GND	
	19	CUE OUT L GND	
7		TB PRE OUT+	アンバランス出力
	20	TB PRE OUT GND	
8		TB PRE OUT GND	
	21	TB OUT+(sw'ed)	アンバランス出力
9		TB OUT GND	
	22	TB OUT GND	
10		LISTEN PRE OUT+	アンバランス出力
	23	LISTEN PRE OUT GND	
11		LISTEN PRE OUT GND	
	24	LISTEN OUT+(sw'ed)	アンバランス出力
12		LISTEN OUT GND	
	25	LISTEN OUT GND	
13			

MON_OUT
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.		Description	Note
1		OUT METER-R+	バランス出力(+24dBu(=0dBfs@-20dBref)出力のため)
	14	OUT METER-R-	バランス出力(+24dBu(=0dBfs@-20dBref)出力のため)
2		OUT METER-R GND	
	15	OUT METER-L+	バランス出力(+24dBu(=0dBfs@-20dBref)出力のため)
3		OUT METER-L-	バランス出力(+24dBu(=0dBfs@-20dBref)出力のため)
	16	OUT METER-L GND	
4		OUT MINI2-R+	アンバランス出力
	17	OUT MINI2-R GND	
5		OUT MINI2-R GND	
	18	OUT MINI2-L+	アンバランス出力
6		OUT MINI2-L GND	
	19	OUT MINI2-L GND	
7		OUT MINI1-R+	アンバランス出力
	20	OUT MINI1-R GND	
8		OUT MINI1-R GND	
	21	OUT MINI1-L+	アンバランス出力
9		OUT MINI1-L GND	
	22	OUT MINI1-L GND	
10		OUT MON-R+	アンバランス出力
	23	OUT MON-R GND	
11		OUT MON-R GND	
	24	OUT MON-L+	アンバランス出力
12		OUT MON-L GND	
	25	OUT MON-L GND	
13			

生産終了

744-CCU1 I/O Connector Pinout 3/8

EXT REMOTE

D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	OV/GND IN/OUT_COMMON	
14	+5V_OUT_for_LAMP	max100mA
2	Y-TB_SW_IN	外部トークバックスイッチを接続。0Vコモン
15	Y-LIS_SW_IN/OUT	オープンコレクタ出力、ロジック入力兼用端子(*1)
3	Y-SLS_CUT_IN	
16	Y-MON_CUT_IN	
4	Y-MON_DIM_IN	
17	B-SURR._MODE_OUT(@SURR.)	
5	T-MONO_SW_OUT(@SURR.)	
18	Y-MONO_LAMP_IN(@SURR.)	
6	T-MINI2_SW_OUT(@SURR.)	
19	Y-MINI2_LAMP_IN(@SURR.)	
7	OUT_RESERVED0	
20	IN_RESERVED0	
8	M-USER_SW1_OUT	
21	Y-USER_SW1_IN	
9	M-USER_SW2_OUT	
22	Y-USER_SW2_IN	
10	M-USER_SW3_OUT	
23	Y-USER_SW3_IN	
11	M-USER_SW4_OUT	
24	Y-USER_SW4_IN	
12	+15V_OUT	max70mA
25	-15V_OUT	max-70mA
13	OV/GND	

(@SURR.)は、SURR.MONITORモード時にのみ動作。
この端子はSTEREOモード時はT-出力は出ません。
この端子はSTEREOモード時はY-入力がある場合も
タリー表示はされません。

Description表記中の接頭記号の説明
Y-:status/タリー入力(0V/GNDコモン)
T-:モーメンタリ出力(SW_NO接点 0V/GNDコモン)
B-:status出力(オープンコレクタ0V/GNDコモン)
M-:モーメンタリ/オルタネート設定可能(*2)出力
(SW_NO接点 0V/GNDコモン)

*各入出力はすべて0V/GNDコモン。
*Pin14"+5V_OUT"から取り出せる電流は最大100mA。
*Pin12"+15V_OUT"/Pin25"-15V_OUT"から取り出せる(取り入れる)電流はそれぞれ最大70mA。
*Y-***入力 ON動作条件は1V以下(0V時電流2mA)。OFF時最大電圧定格30V。マイナス電圧接続禁止。アナログ電圧接続禁止。
*M-/T-出力 接点定格は最大50mA、OFF時最大電圧定格30V。マイナス電圧接続禁止。
(*1):コントローラーでLIS_SWをONにした場合にオープンコレクタ出力がONになります。外部に接続された接点が
0V/GNDと接続された場合にLISTEN_MIC(RTB)機能が動作します。同時に動作させた場合はコントローラー側機能が優先。
(*2):USER_SW*は初期設定操作によりM-OUTをオルタネート(ロックタイプ)接点出力に変更することができます(出荷時は
すべてモーメンタリ)。
* USER_SW*は初期設定操作によりY-IN入力で点灯するLED色を赤/緑/黄のどれか一つに再設定できます(出荷時はすべて黄色)。
* USER_SW*を自照式SWとして使用する場合はM-OUTとY-INを接続(ショート)して1つの端子として使用してください。

"SW BOX"

D9S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	5V	
6	0V/GND	0V/GND_COMMON
2	DATA-	
7	DATA+	
3	LOCAL_TB_MIC+	プリアンプ入力
8	LOCAL_TB_MIC-	プリアンプ入力
4	GND	
9	+15V	
5	-15V	

外部使用禁止

*744CCR1リモートスイッチボックスケーブル標準長さ15m。
延長が必要な場合は5VとOV/GNDの電圧降下が問題となります 5VとOV/GNDの導体断面積を大きくすることにより、
50m程度まで伸ばすことができます。環境の影響等、考慮すべき技術的な条件がありますので、詳しくは当社に
お問い合わせください。

744-CCU1 I/O Connector Pinout 4/8

PROC_SEND_1-8
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	~~PROC_SEND_BR+~~	* Eオプション
14	~~PROC_SEND_BR-~~	
2	~~PROC_SEND_BR GND~~	
15	~~PROC_SEND_BL+~~	* Eオプション
3	~~PROC_SEND_BL-~~	
16	~~PROC_SEND_BL GND~~	
4	PROC_SEND_Rs+	
17	PROC_SEND_Rs-	
5	PROC_SEND_Rs GND	
18	PROC_SEND_Ls+	
6	PROC_SEND_Ls-	
19	PROC_SEND_Ls GND	
7	PROC_SEND_LFE+	
20	PROC_SEND_LFE-	
8	PROC_SEND_LFE GND	
21	PROC_SEND_C+	
9	PROC_SEND_C-	
22	PROC_SEND_C GND	
10	PROC_SEND_R+	
23	PROC_SEND_R-	
11	PROC_SEND_R GND	
24	PROC_SEND_L+	
12	PROC_SEND_L-	
25	PROC_SEND_L GND	
13	---	

S1,S2ディフューズ出力生成、ディレイEQ補正用プロセッサ用Ins.出力

SURR._METER_OUT
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	~~SURR._METER_OUT_BR+~~	* Eオプション
14	~~SURR._METER_OUT_BR-~~	
2	~~SURR._METER_OUT_BR GND~~	
15	~~SURR._METER_OUT_BL+~~	* Eオプション
3	~~SURR._METER_OUT_BL-~~	
16	~~SURR._METER_OUT_BL GND~~	
4	SURR._METER_OUT_Rs+	
17	SURR._METER_OUT_Rs-	
5	SURR._METER_OUT_Rs GND	
18	SURR._METER_OUT_Ls+	
6	SURR._METER_OUT_Ls-	
19	SURR._METER_OUT_Ls GND	
7	SURR._METER_OUT_LFE+	
20	SURR._METER_OUT_LFE-	
8	SURR._METER_OUT_LFE GND	
21	SURR._METER_OUT_C+	
9	SURR._METER_OUT_C-	
22	SURR._METER_OUT_C GND	
10	SURR._METER_OUT_R+	
23	SURR._METER_OUT_R-	
11	SURR._METER_OUT_R GND	
24	SURR._METER_OUT_L+	
12	SURR._METER_OUT_L-	
25	SURR._METER_OUT_L GND	
13	---	

生産終了

744-CCU1 I/O Connector Pinout 5/8

SURR._PGM_IN

D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	~~SURR._PGM_IN_BR+~~	* Eオプション
14	~~SURR._PGM_IN_BR-~~	
2	~~SURR._PGM_IN_BR GND~~	
15	~~SURR._PGM_IN_BL+~~	* Eオプション
3	~~SURR._PGM_IN_BL-~~	
16	~~SURR._PGM_IN_BL GND~~	
4	SURR._PGM_IN_Rs+	
17	SURR._PGM_IN_Rs-	
5	SURR._PGM_IN_Rs GND	
18	SURR._PGM_IN_Ls+	
6	SURR._PGM_IN_Ls-	
19	SURR._PGM_IN_Ls GND	
7	SURR._PGM_IN_LFE+	
20	SURR._PGM_IN_LFE-	
8	SURR._PGM_IN_LFE GND	
21	SURR._PGM_IN_C+	
9	SURR._PGM_IN_C-	
22	SURR._PGM_IN_C GND	
10	SURR._PGM_IN_R+	
23	SURR._PGM_IN_R-	
11	SURR._PGM_IN_R GND	
24	SURR._PGM_IN_L+	
12	SURR._PGM_IN_L-	
25	SURR._PGM_IN_L GND	
13	---	

生産終了

744-CCU1 I/O Connector Pinout 6/8

SURR.1_IN
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	~~SURR.1_IN_BR+~~	* Eオプション
14	~~SURR.1_IN_BR-~~	
2	~~SURR.1_IN_BR GND~~	
15	~~SURR.1_IN_BL+~~	* Eオプション
3	~~SURR.1_IN_BL-~~	
16	~~SURR.1_IN_BL GND~~	
4	SURR.1_IN_Rs+	
17	SURR.1_IN_Rs-	
5	SURR.1_IN_Rs GND	
18	SURR.1_IN_Ls+	
6	SURR.1_IN_Ls-	
19	SURR.1_IN_Ls GND	
7	SURR.1_IN_LFE+	
20	SURR.1_IN_LFE-	
8	SURR.1_IN_LFE GND	
21	SURR.1_IN_C+	
9	SURR.1_IN_C-	
22	SURR.1_IN_C GND	
10	SURR.1_IN_R+	
23	SURR.1_IN_R-	
11	SURR.1_IN_R GND	
24	SURR.1_IN_L+	
12	SURR.1_IN_L-	
25	SURR.1_IN_L GND	
13	---	

SURR.2_IN
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	~~SURR.2_IN_BR+~~	* Eオプション
14	~~SURR.2_IN_BR-~~	
2	~~SURR.2_IN_BR GND~~	
15	~~SURR.2_IN_BL+~~	* Eオプション
3	~~SURR.2_IN_BL-~~	
16	~~SURR.2_IN_BL GND~~	
4	SURR.2_IN_Rs+	
17	SURR.2_IN_Rs-	
5	SURR.2_IN_Rs GND	
18	SURR.2_IN_Ls+	
6	SURR.2_IN_Ls-	
19	SURR.2_IN_Ls GND	
7	SURR.2_IN_LFE+	
20	SURR.2_IN_LFE-	
8	SURR.2_IN_LFE GND	
21	SURR.2_IN_C+	
9	SURR.2_IN_C-	
22	SURR.2_IN_C GND	
10	SURR.2_IN_R+	
23	SURR.2_IN_R-	
11	SURR.2_IN_R GND	
24	SURR.2_IN_L+	
12	SURR.2_IN_L-	
25	SURR.2_IN_L GND	
13	---	

生産終了

744-CCU1 I/O Connector Pinout 7/8

PROC_RTN_1-8
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	PROC_RTN_Rs2+	
14	PROC_RTN_Rs2-	
2	PROC_RTN_Rs2 GND	
15	PROC_RTN_Ls2+	
3	PROC_RTN_Ls2-	
16	PROC_RTN_Ls2 GND	
4	PROC_RTN_Rs1+	
17	PROC_RTN_Rs1-	
5	PROC_RTN_Rs1 GND	
18	PROC_RTN_Ls1+	
6	PROC_RTN_Ls1-	
19	PROC_RTN_Ls1 GND	
7	PROC_RTN_LFE+	
20	PROC_RTN_LFE-	
8	PROC_RTN_LFE GND	
21	PROC_RTN_C+	
9	PROC_RTN_C-	
22	PROC_RTN_C GND	
10	PROC_RTN_R+	
23	PROC_RTN_R-	
11	PROC_RTN_R GND	
24	PROC_RTN_L+	
12	PROC_RTN_L-	
25	PROC_RTN_L GND	
13	---	

S1,S2、ディレイEQ補正用プロセッサ用Ins.return入力
(*本体内部ジャンパーにより PROC_INSをバイパス可。この場合 入力のLs,RsがMONITORのLs1,Rs1に、入力のBL,BRがMONITORのLs2,Rs2 出力にそれぞれ出力)

SURR._9,10_I/O
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	~~SURR._MON2_OUT_BR+~~	
14	~~SURR._MON2_OUT_BR GND~~	
2	~~SURR._MON2_OUT_BR GND~~	
15	~~SURR._MON2_OUT_BL+~~	
3	~~SURR._MON2_OUT_BL GND~~	
16	~~SURR._MON2_OUT_BL GND~~	
4	~~SURR._MON1_OUT_BR+~~	
17	~~SURR._MON1_OUT_BR GND~~	
5	~~SURR._MON1_OUT_BR GND~~	
18	~~SURR._MON1_OUT_BL+~~	
6	~~SURR._MON1_OUT_BL GND~~	
19	~~SURR._MON1_OUT_BL GND~~	
7		
20		
8		
21		
9		
22		
10	~~PROC_RTN_BR+~~	
23	~~PROC_RTN_BR-~~	
11	~~PROC_RTN_BR GND~~	
24	~~PROC_RTN_BL+~~	
12	~~PROC_RTN_BL-~~	
25	~~PROC_RTN_BL GND~~	
13	---	

BL,BR、MONITOR出力
(*内部ジャンパーは無し。
PROC_RTN9,10と常時接続)

このコネクターは、Xオプション実装時に機能します。標準ではブランク板になっています。

BL,BR、ディレイEQ補正用プロセッサ用Ins.入力

生産終了

744-CCU1 I/O Connector Pinout 8/8

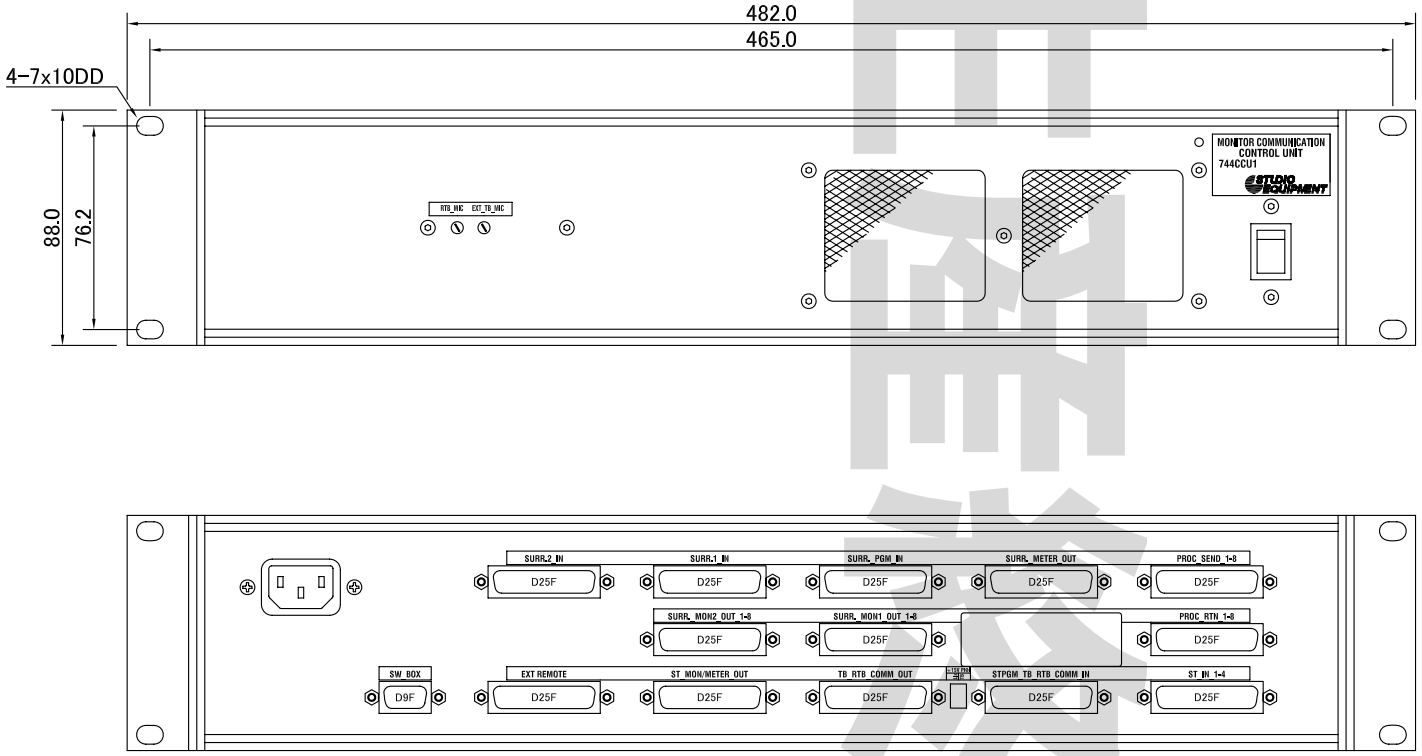
SURR._MON1_OUT_1-8
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	SURR._MON1_OUT_Rs2+	
14	SURR._MON1_OUT_Rs2 GND	
2	SURR._MON1_OUT_Rs2 GND	
15	SURR._MON1_OUT_Ls2+	
3	SURR._MON1_OUT_Ls2 GND	
16	SURR._MON1_OUT_Ls2 GND	
4	SURR._MON1_OUT_Rs1+	
17	SURR._MON1_OUT_Rs1 GND	
5	SURR._MON1_OUT_Rs1 GND	
18	SURR._MON1_OUT_Ls1+	
6	SURR._MON1_OUT_Ls1 GND	
19	SURR._MON1_OUT_Ls1 GND	
7	SURR._MON1_OUT_LFE+	
20	SURR._MON1_OUT_LFE GND	
8	SURR._MON1_OUT_LFE GND	
21	SURR._MON1_OUT_C+	
9	SURR._MON1_OUT_C GND	
22	SURR._MON1_OUT_C GND	
10	SURR._MON1_OUT_R+	
23	SURR._MON1_OUT_R GND	
11	SURR._MON1_OUT_R GND	
24	SURR._MON1_OUT_L+	
12	SURR._MON1_OUT_L GND	
25	SURR._MON1_OUT_L GND	
13	---	

生産終了

SURR._MON2_OUT_1-8
D25S(S=Female)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	SURR._MON2_OUT_Rs2+	
14	SURR._MON2_OUT_Rs2 GND	
2	SURR._MON2_OUT_Rs2 GND	
15	SURR._MON2_OUT_Ls2+	
3	SURR._MON2_OUT_Ls2 GND	
16	SURR._MON2_OUT_Ls2 GND	
4	SURR._MON2_OUT_Rs1+	
17	SURR._MON2_OUT_Rs1 GND	
5	SURR._MON2_OUT_Rs1 GND	
18	SURR._MON2_OUT_Ls1+	
6	SURR._MON2_OUT_Ls1 GND	
19	SURR._MON2_OUT_Ls1 GND	
7	SURR._MON2_OUT_LFE+	
20	SURR._MON2_OUT_LFE GND	
8	SURR._MON2_OUT_LFE GND	
21	SURR._MON2_OUT_C+	
9	SURR._MON2_OUT_C GND	
22	SURR._MON2_OUT_C GND	
10	SURR._MON2_OUT_R+	
23	SURR._MON2_OUT_R GND	
11	SURR._MON2_OUT_R GND	
24	SURR._MON2_OUT_L+	
12	SURR._MON2_OUT_L GND	
25	SURR._MON2_OUT_L GND	
13	---	



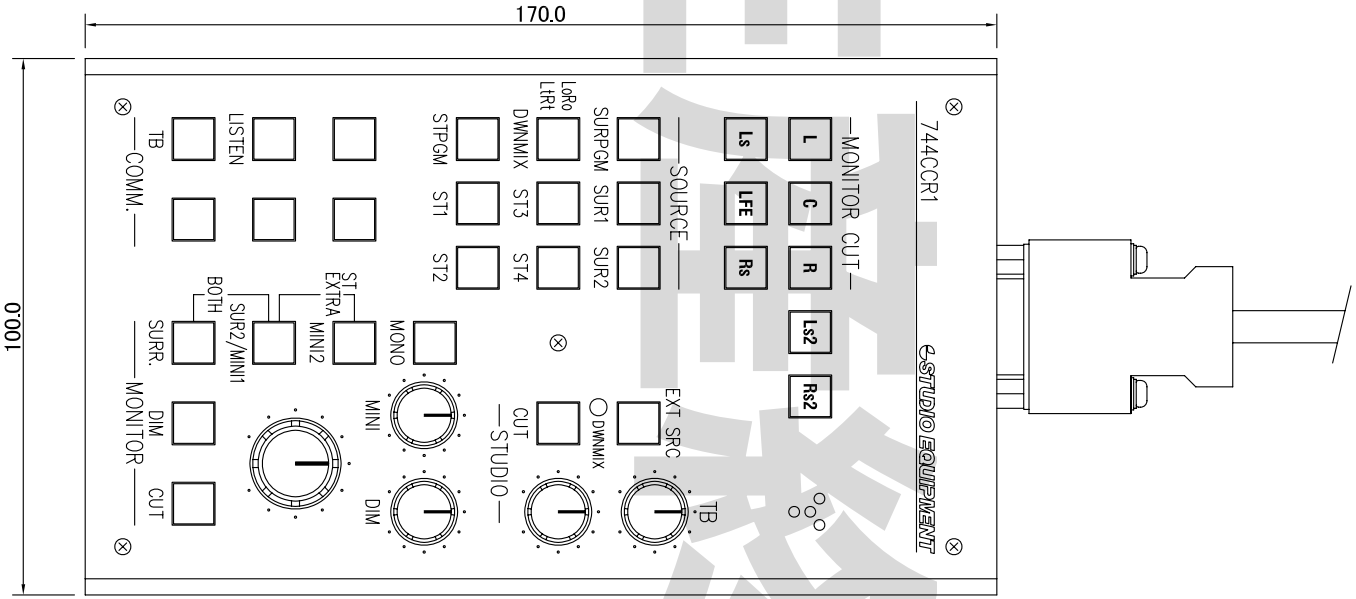
奥行き 230mm

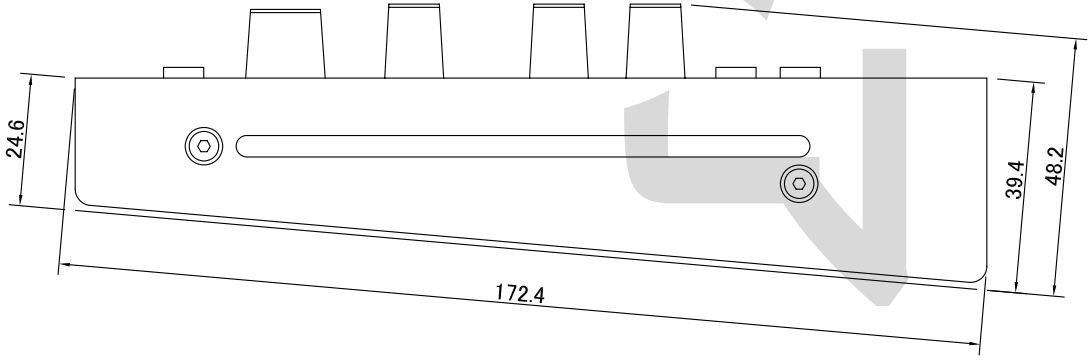
ケース表面仕上げ: HL黒アルマイト処理

STUDIO EQUIPMENT CORPORATION
5-2-10, Shimouma
Setagaya City, TOKYO 154
TEL 03(3795)3111

Title:
MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT
概観図

Date:	Document Nr.:	
'09 1/27	744-CCU1OD	
Scale: 1/2	Drawn: Ka	Sheet 1 of 1





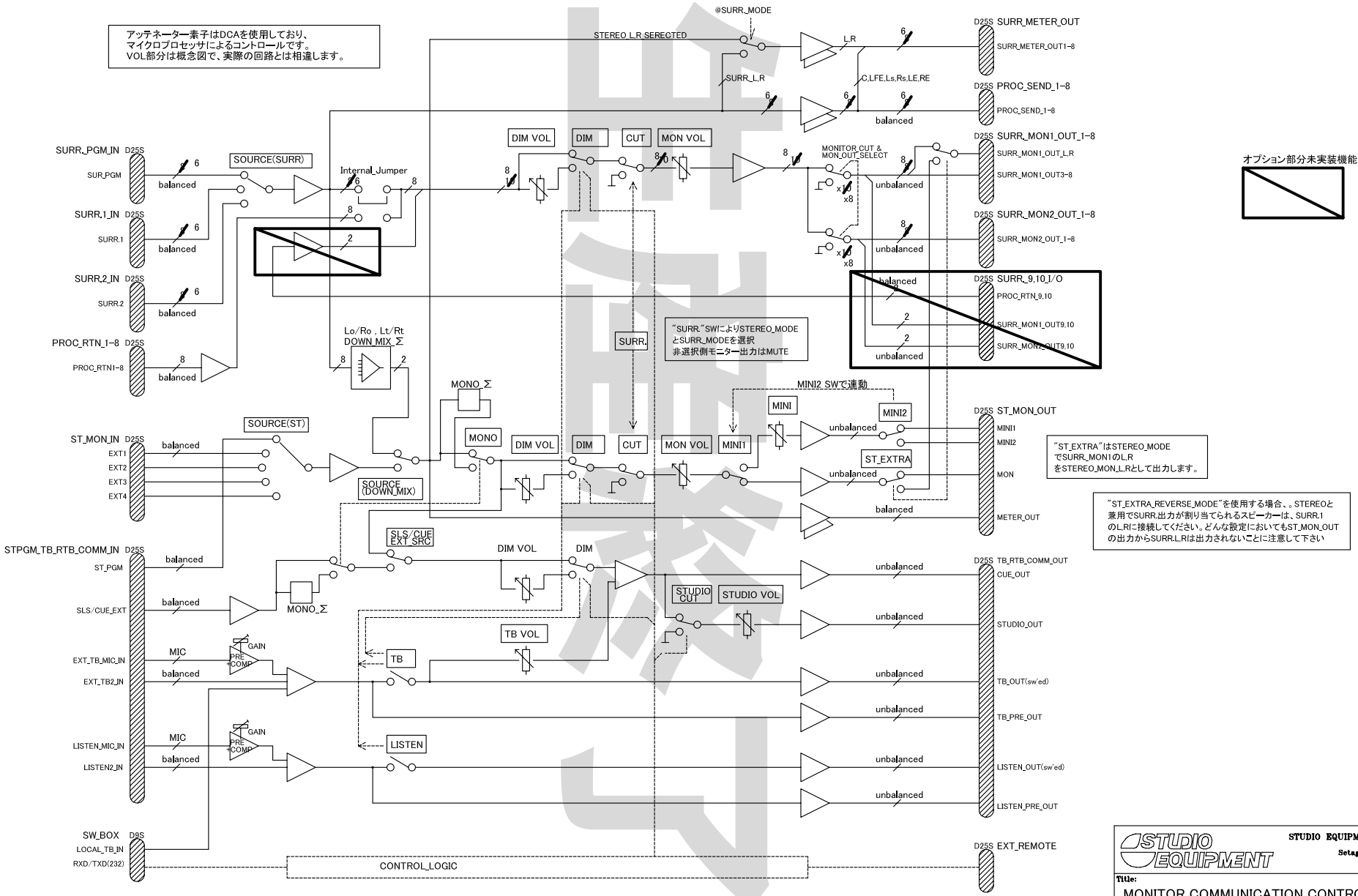
数量:1
材料:操作面 白メタアクリルAlp2.0t
材料:側板 暗灰メタアクリル3.0t
材料:底板 Alp2.0t/黒アルマイト

彫刻文字:2.5h灰色

STUDIO EQUIPMENT CORPORATION
5-2-10, Shimouma
Setagaya City, TOKYO 154
TEL 03(3795)3111

Title: SURRO. MONITOR COMMUNICATION SW BOX
概観図

Date:	Document Nr.:	
09 1/27	744-CCR1OD	
Scale:	Drawn:	Sheet of
1/1	Ka	1 1



STUDIO EQUIPMENT CORPORATION
5-2-10, Shimouma
Setagaya City, TOKYO 154
TEL 03(3795)3111

Title:
MONITOR COMMUNICATION CONTROL UNIT
回路動作ブロック図

Date:	Document Nr.:	
'09 1/27	744-CCU1BD	
Scale: N.T.S	Drawn: Ka	Sheet 1 of 1

品質保証規定

(株)スタジオイクイプメントは、当社及び当社の正規販売代理店から購入されたスタジオイクイプメント製品の品質を、購入の日より1年間保証します。保障修理品の送付方法については販売店にご確認ください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により、当社に直接、保障修理依頼を行う場合は、下記修理品受付連絡先宛てに先ず電話にてご連絡いただき、故障症状をお書き添えの上、修理品と、購入日を示す納品書またはレシート等のコピーを、下記修理品受付連絡先宛てにご送付ください。(いずれの場合も、保障修理を依頼する場合は、購入日を示す納品書またはレシート等のコピーが必要になりますので、購入日を示す納品書またはレシート等を保管しておいてください。)

*故障品を送る場合の送料は、原則、お客様の負担となります。

この品質保証規定は、以下の項目のうちのいずれかに該当する場合、無効となります。

1:本製品を改造(当社により行われた改造を除く)、取扱い説明書に記載されていない分解、誤った使用(誤配線による故障も含まれます)、乱暴な取り扱いを行った場合。

2:当社及び当社の正規販売代理店以外から購入された場合。

3:中古品を購入した場合。

*消耗部品、摩耗部分については、補償の対象外です。

この品質保証規定は、本製品のみを保証するものであり、本製品の使用によって生じたいかなる損害も補償するものではありません。

修理品の取り扱いについて

修理品の送付方法については販売店にご確認ください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により、当社に直接、修理依頼を行う場合は、下記修理品受付連絡先宛てに先ず電話にてご連絡いただき、故障症状をお書き添えの上、下記修理品受付連絡先宛てにご送付ください。

*故障品を送る場合の送料は、原則、お客様の負担となります。

*修理代替品については、原則ご用意していませんが、デモ品等を充当できる場合もありますので、販売店にお問い合わせください。特別な理由(販売店に連絡が取れない等)により、当社に直接、修理依頼を行う場合の修理代替品のお問い合わせについては、下記修理品受付連絡先に電話にてご確認ください。修理代替品の送料は、お客様の負担となります。

*修理品送付後、修理実行前に修理暫定見積もりを希望される場合、実際に修理を行う場合は、修理費用と送料をご負担頂き、修理暫定見積もりは無料となりますが、未修理返却の場合は、修理暫定見積もりは有償となります。この場合は修理暫定見積もり料金と送料(代替品送付の場合は加えて代替品送料および送付手数料)をご負担願います。

生産終了

修理品受付連絡先

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10
株式会社スタジオイクイプメント 製品修理受付担当
TEL:03-3795-3111 / FAX:03-3795-3353

(株)スタジオイクイプメント
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10
TEL:03-3795-3111 FAX:03-3795-3353
http://www.studioequipment.co.jp